

い 広 場

あの人 この人

八面六臂の活動
京北自治振興会副会長

岡本 洋志 さん

右京区京北明石町



岡本さんのモットーは「地域振興に貢献・人間関係は大切に」です。とにかくお忙しい方です。ゲートボール定期練

習日の今日も午後会議が入っているようで欠席です。岡本さんは京北町職員を退職後も「きょうと京北ふるさと公社」の宇津峡公園の園長として通算11年勤務、同公園を充実した施設に築きあげました。京北町も平成17年京都市に編入合併して早や13年になりますが、平成20年から京北自治振興会副会長として会長を補佐、京北の顔として京都市など各種団体と対応活躍しています。その一つが秋の時代祭り、主催す

る平安講社の京北学区の代表として参画、時代祭の行列にはこれまで6回も参列しています。一方社会福祉活動では京都府共同募金会評議委員・企画委員、右京共同募金会々長や右京社会福祉協議会、京都府遺族会などの役員を、そして高校野球のOBとして地元のスポーツ関係の各種団体の役員もこなしています。また、府内四〇〇寺院があるといわれる曹洞宗の京都府護持会会長を平成21年から勤め、檀信徒梅花講でも中



時代祭にて

心となつて永平寺や総持寺への研修などに積極的に取り組んでいます。冒頭にある岡本さんのモットーは、仏教で言う「利他の心」をここで深く学ばれたと推測します。更に本年度からは京北老人クラブ連合会の会長に就任、また世話役が増えました。役職世話役の数はいくつあるのか？八面六臂の活躍、驚嘆するしありません。「岡モツちゃん」「洋ちゃん」の愛称で親しまれている岡本さん、どうぞ健康にお気を付けて、ますますのご活躍をお世話になります。(M)



歴史に包まれた山合の集落

京都市北区 杉坂

杉坂都町・道風町

京都から国道162号線(周山街道)の中川トンネルを抜けて間もなくのバス停「杉坂口」が今回の「ぶらり」の出发点。府道31号西陣杉坂線(通称「鷹峯街道」)は、上京区千本今出川に至る旧京北町と京都市を結ぶかつての幹線道路です。明治中期に周山街

道が全通するまでこの街道は多くの人馬が往来し、沿線は賑わっていたといえます。近代になると、北山杉を中心とした林業が栄え、農協・小学校・郵便局・国鉄バスの運行」等、街の姿に変化はなくても時代の流れに大きく変遷してきた集落です。特に当時の杉坂郵便局は、全国でも珍しい本来の郵便を中心とした業務よりも京都と京北を結ぶ電話交換業務が主体となった郵便局でもありました。



元 杉坂郵便局

入口に架かる中山橋から眼下を見下ろすと、改修前の橋が残されており、急こう配の先にあつた橋がこの地の陰しさを感ぜさせてくれます。山間の道を暫く進むと「杉坂都町」表示板、かつての杉坂の中心地で、前方に廃止となつた郵便局と農協の建物が往

時を偲ばせています。手前の橋は川と道路の合流点、真弓橋を通り左は「真弓」の集落へ、杉坂橋を直進して更に進む。やがて左側の高台にかつての杉坂小学校の跡地があり、現在は地区の公民館となっています。更に右に進むと、左手にトタン張りの倉庫、かつての国鉄バス杉坂駅があります。建物の一部は当時のままで残っています。バス一台分の車庫と乗務員の宿泊所であった。最終便で到着したバスと乗務員が翌日の始



道風神社

発まで待機していたと聞いています。集落の端に来ると、川を挟んだ右手の山裾に朱色の橋と鳥居が見えます。平安時代中期の創建とされる「道風神社」です。平安時代の三跡の一人小野道風を祭神とした歴史ある神社は硯に使つた水「霊水和光水」も併せて祀られています。(S)